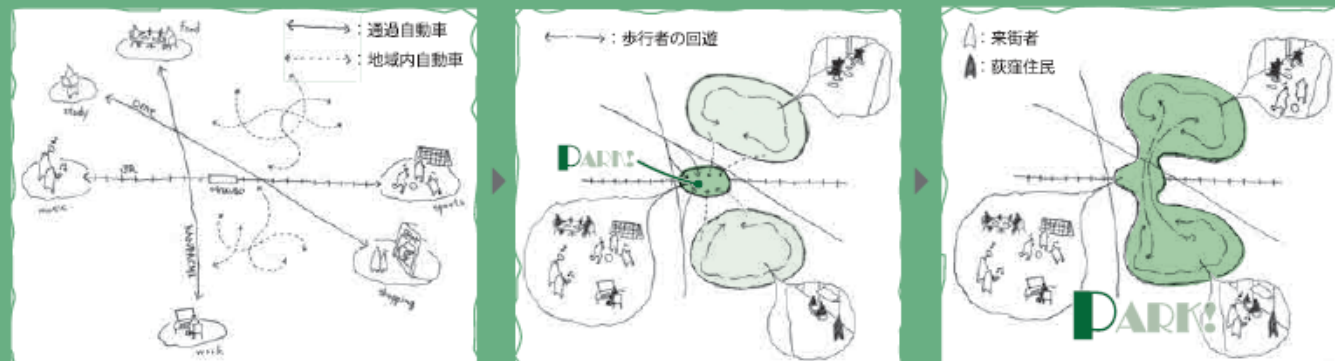


PARKが、おぎくぼのまちを変える



12万人が駅を利用し、10万台の自動車が通過する荻窪。彼らは、それぞれの目的地で、多様な活動を行っています。一方、生活の場であるまちなかでは、商店の掲げき車間などが生活道路を狭めています。

大きなPARKをつくります。通過していた自動車を呼び込むことで来街者が増え、PARKを拠点に多様な活動が展開され始めます。また、まちなかの自動車をPARKに収容することで、生活道路はひとが安心して使える空間になります。

PARKでの活動がひと中心の空間にしみ出し、来街者と住民が一緒に楽しむ豊かなまちづくりが始まります。荻窪のまちが、まるで大きな広場のようになり、人々に使われるようになります。

収容台数1,500台!! コアパークの魅力

平日 交通・物流の結節点として



- ・パーク & ライド優先利用駐車場として位置づけ、公共交通利用を促進します。
- ・クリーニングや保育園など、生活に便利な施設を配置し、通勤時に利便性を高めます。
- ・駅周辺地区の共同配送(持寄り)スペースを確保し、物流のプラットフォームとなります。

休日 人々が交流するイベント広場として



- ・移動販売車が車を停め、市民にサービスを提供できます。
- ・クラシック音楽祭など、収穫らしいイベントが開催できます。

現状課題①交通結節性

- 多い駅周辺 近い範囲から人が集まる 高いポテンシャルを活かしていない
- 駅 500m 圏の最盛人口 4万人程度に対し、駅利用は 12万人以上 (乗車)
- 駅利用者の 2割以上がバス利用→駅アクセスが悪い伊勢丹あり
- 9000人の駅利用者が自転車利用→駐輪場は8000台弱、駅周辺の商業施設利用を含めた駐輪場が不足
- 500人の駅利用者が車利用。荻窪駅周辺では100人以下であり、境界点 車 55,000台/24h、青森 40,000台/24hの自動車交通

魅力ある地域づくりのための視点

- 1 南北まちなか〜バス〜駅アクセスのシームレス化
- 2 自転車・自動車・歩行者動線の分離
- 3 ひろびろとした駅空間の確保による混乱解消
- 4 通過交通である自動車を地域に取り込む

現状課題②居住性

- 駅 良好な住宅街だが 周辺都市と比較してまちの個性に乏しい
- 「クラシックのまち」イメージが住民にも来訪者にも広がっていない
- 商店街・地域住民で連携した取組が乏しい
- 商店街や生活道路は自動車通過が少なく、地域に密着した安心感あり公園や広場など、人が滞留して自由に過ごせる場所が少ない

魅力ある地域づくりのための視点

- 1 商店街・生活道路から自動車・自転車を極力排除し、駅独自のコミュニティ道路網を形成
- 2 道路空間を中心に、沿道店舗や住宅を活用した
- 3 草の根型イベント等を日常的に実施 駅近にイベント拠点となるスペースを確保

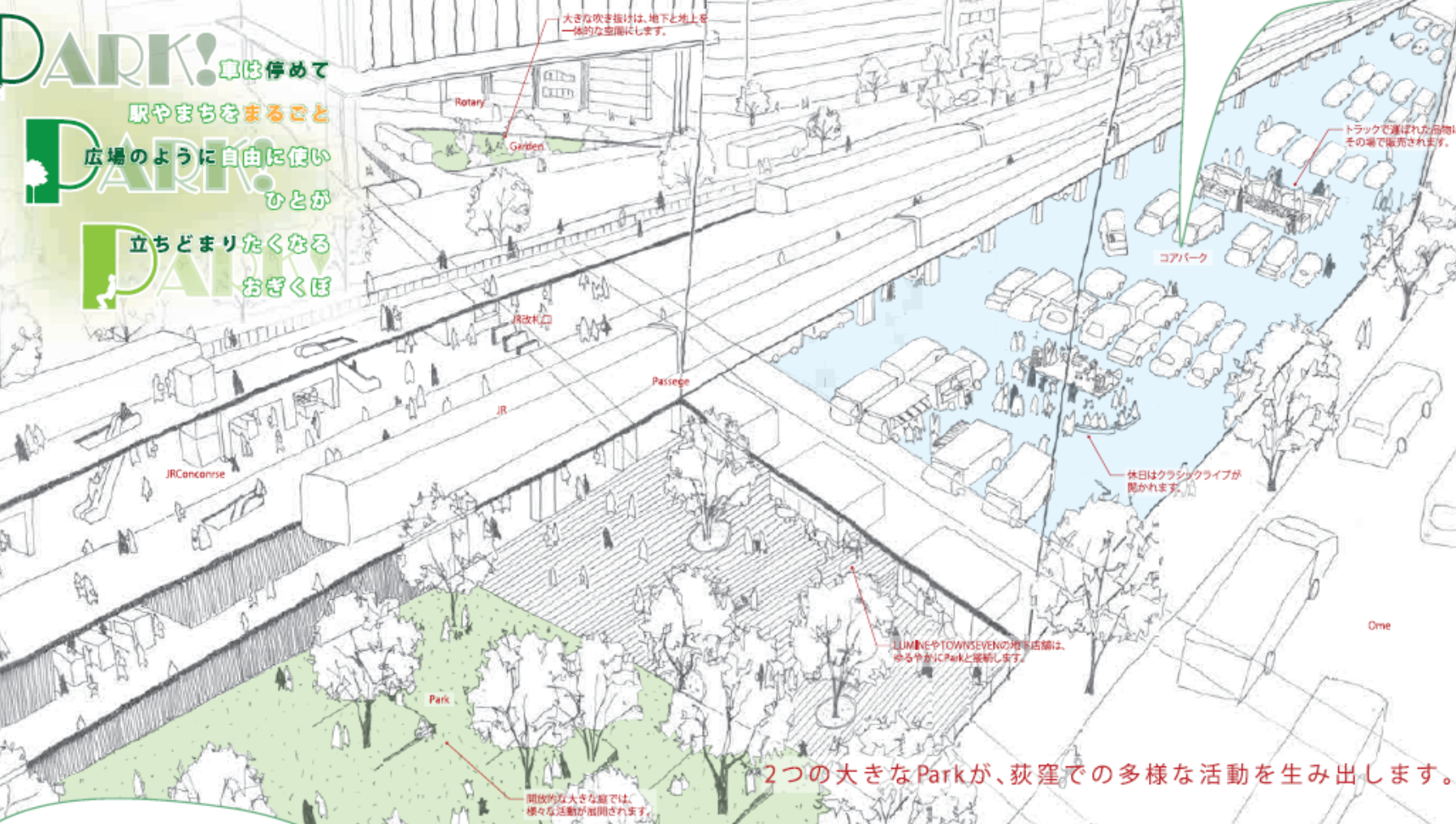
現状課題③防災性

- 駅 周辺に形成して 防災性が高いが、災害に弱い箇所がある
- 阿佐ヶ谷・高円寺方面に広域避難場所(善福寺川緑地)へのアクセスが悪い地域あり
- 青梅・環八が延焼防止帯となり、駅周辺は火災危険度が高い地震災害時、新宿方面からの帰宅困難者が青梅街道を利用し、バス乗降点である荻窪を目指すことが想定 環八と中央線の交差部周辺は2m程度の浸水可能性(過去にも浸水)

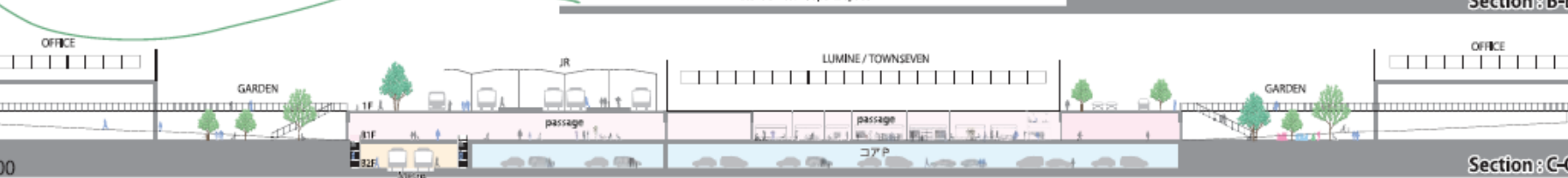
防災力強化のための視点

- 1 「災害に強い荻窪」のブランドイメージ形成
- 2 線路沿いの地下に「洪水時遊水池」兼「地震時防災拠点」を形成
- 3 再開発による不燃性向上・備蓄協定

DARK! 車は停めて 駅やまちをまるごと 広場のよう自由に使い ひとが 立ちどまりたくなる おぎくぼ



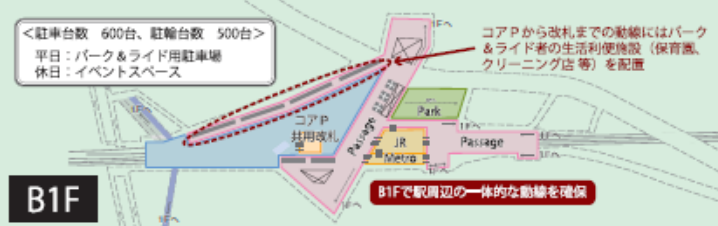
コアパークの防災機能



コアパーク整備によるまちの変化



区民が進める まちなかまるごと広場



生活道路を交通規制(通行止・速度規制・一方通行等)し、緑化や沿道からの参み出し利用など、地域主体のエリアマネジメントによる柔軟な道路空間活用を図る



子どもたちの遊び場として 沿道店舗の参み出し(看板や商品など) イベント「クラシックピルを飲みながらクラシック」 イベント「まちじゅうみちじゅうフリーマーケット」

道路の使われ方 区: 道路整備(歩行者用舗装・緑化)、マネジメント支援 地域: 維持管理、イベント時の占用等のルールづくり

再開発を中心とした実現へのステップ



事業主体別の事業メリット(工区別)	第1工区	第2工区	第3工区
JR・メトロ	P&L⇒駅利用者増 地下空間⇒商業施設活用	コンコース改良⇒商業等活性化・遊歩道と地下空間⇒商業施設活用	北口改良⇒バス乗降円滑化
民間	再開発ビル⇒事業収益増(4棟) パークビル⇒事業収益増(4棟) パークビル⇒事業収益増(4棟)	再開発ビル⇒事業収益増(4棟) コンコース改良⇒シームレス化による利用者増	再開発ビル⇒商業施設活用(1棟)
杉並区	パークビル⇒駐停車庫削減 防犯カメラ⇒防犯向上 駐輪場⇒設置自転車増 自転車道⇒南北駅前整備	コンコース改良⇒南北駅前整備 南口ロータリー⇒バス乗降円滑化 ⇒道路安全性向上 自転車道⇒南北駅前整備	北口ロータリー⇒バス乗降円滑化 ⇒道路安全性向上 サンクンガーデン⇒オアシススペース確保